

## 平成18年度離島人材育成基金助成事業一覧

市町村名	事業名と内容(趣旨)	事業申請者
北海道利尻町	【利尻海藻押し葉担い手育成事業】 使い道のなかった海藻を押し葉にし様々な普及・事業に取り組んできた。雇用の場創出や小中学生の体験学習を開催し担い手の育成を図り、「海藻押し葉の里」づくりを実現する。	海藻押し葉の里づくり 実行委員会 会長 石橋 円彦
宮城県石巻市	【実りの島収穫祭計画事業】 島の温暖な気候を活かし、将来性のある果実の栽培を計画したい。そのための適合果実、土壌調査を行いモデル案を作成、住民等のボランティアの一環や島の活性化、観光資源とする。	田代島実り実行委員会 代表 濱 温
宮城県塩竈市	【花の島野々島のフィールド達人育成事業】 生物・地形・民俗・景観等の調査を行い、島の魅力や自然の豊かさを紹介する冊子を作成。この作成に携わる人がフィールドガイドの資質を養い、達人を養成する。	特定非営利活動法人 フラワーアイランド野々島 理事長 津田 安廣
山形県酒田市	【飛鳥ダイビングリーダー育成事業】 島の豊かな資源を後生に残せる後継者を育成し、観光事業の更なる展開を図る。東北屈指の美しい飛鳥の水中世界を伝えるダイビングリーダーを養成する。	特定非営利活動法人 パートナーシップオフィス 理事長 西村 修
東京都大島町	【伊豆大島インタープリテーションプログラム「島の」人材育成事業】 地域文化や自然資源を見直し、島外に情報発信する環境整備を行い、島の魅力をナビゲーションできるインタープリテーションガイドを募り、養成講座を開催して島の魅力を情報発信する人材を養成する。	大島健康愛らんど会 代表 向山 香江子
東京都八丈町	【八丈太鼓六人会25周年記念公演～八丈太鼓のルーツと黒潮の音色を探究する～】 黒潮により南島の文化が伝承。沖縄・奄美の島唄から太平洋側の八丈太鼓、津軽の津軽三味線など、先人達の文化を黒潮の流れに沿って表現し、地域間交流が深まるモデル事業として発信する。	八丈太鼓六人会 会長 菊池 修
新潟県佐渡市	【小木港ポートセールス事業】 港のマリンプロジェクト計画が20余年たち縮小されてきている。クラブハウスの建設を契機にマリンスポーツを盛り上げ、海の楽しみを広げ、佐渡の魅力を語れる人材の育成を目指す。	小木ヨットクラブ 会長 葛西 勇
新潟県佐渡市	【湊地区街並み再生(提灯作成者育成)事業】 船の待ち時間にぶらっとみて歩けるような、昔懐かしい街並み再生に取り組む一環として、高張り提灯を作成する。また提灯製作体験教室を開催し後継者育成を図る。	特定非営利活動法人 みなと昭和館 代表理事 中川 昌司
新潟県佐渡市	【八幡いも工場(名物・八幡いもの普及と八幡いものルーツを探る)プロジェクト】 八幡芋は江戸時代には代官所に納められていた事から里芋の代名詞となっていた。しかし、今は減少し貴重となっている。八幡芋を特産物とし、復活と普及を進め地域活性化と人材育成を目指す。	八幡・銀杏の会 代表 本間 東三夫
三重県鳥羽市	【ひじき交流事業】 答志島と伊賀市の比自岐地区との物産や子供達との交流など、息の長い地域間交流を盛んにすることにより、歴史・文化の共有、食文化の再発見等を図ってゆく。	ひじきの交流 代表 浜口 一利
山口県周防大島町	【家紋(come on!!)アロハでアイランドステイ周防大島事業】 周防大島はハワイへの移民が多く、移民の着物に由来するアロハを「家紋アロハ」として自ら作成したり、島食文化体験メニュー、島歩き体験メニューを実施する農家民宿の短期滞在システムを確立する。	アイランド30 グリーンツーリズムマスター 河内 啓
愛媛県宇和島市	【ぴっちぴちハマチ販売促進事業】 主産業のハマチを女性ならではの発想と愛情で料理し商品化を図る。豊かな海の幸のパフレットを作成して全国にアピールし、郷土料理を継承しながら新たな特産品を開発する。	とっとまむ 代表 藤川 美保
福岡県北九州市	【藍島コミュニティをたちあげる会】 小さな島であり、高齢化も進む藍島の高齢者・障害者・子どもたちに安全・安心に暮らせる環境を与えられる施設づくりを目指し、また住民によって運営できるようにする。	藍島コミュニティを たちあげる会 会長 浦野 安子
長崎県新上五島町	【原爆ミュージカルにおける国際交流事業】 戦中戦後、日本に貢献されたゼノ神父の生涯をもとにした原爆劇を通し平和学習について考える。神父の故郷ポーランド並びにローマ法王庁でミュージカルを上演し、国際交流を図る。	子どもたちは島の宝 ネットワーク 代表 前田 あおい
長崎県壱岐市	【古代から未来への食文化、雑穀を育て新しい料理を広げるプロジェクト】 昔作っていた雑穀が、現代人の食事にかけているミネラル・食物繊維等免疫力を高める物質を多く含む食材と知り、再び育て良さと料理法を広げ、雑穀を栽培してもらう。	夢のある街イキ壱岐 雑穀研究グループ 代表 小川 佳子
長崎県壱岐市	【島づくり恒常知識技術文化の伝承事業】 団塊社会を迎え、島の文化や資源を見直し若者の技術離れを是正するため、定年者の豊富な経験と技能を活かし、「生きがい」「健康づくり」「原の辻遺跡の振興に伴う知識の普及」を目的とした事業を行う。	白川 七郎
合 計	10都道県 13市町村 16事業	